

# 『おおきな木（通級指導教室）』だより



豊中市立大池小学校 R5（2023）7・19 No.2

## 暑い夏休み・・涼しくすごすには



まもなく夏休み。楽しみですね。

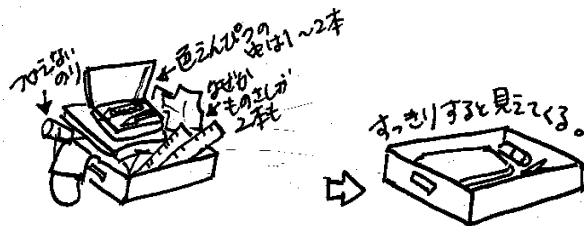
ところが子どもたち、夏休みになるとおうちで「やかましい」「あつくるしい」「早く2学期になってほしい」などと言われていないでしょうか。

それだけでなく猛暑・酷暑の今年。少しでも涼しくすごすために「風通しをよくする⇒ものを少なくする」ことを考えてみました。

### ①ものをへらす

わすれものが多い子、“うっかり”が多い子は「もちものが多い」ことがよくあります。学校の机のなかに

- やりかけのプリント（下書きなど）
- 返却されたテスト（たいがい良くない点数）
- 切った紙のはしっこ（これはゴミなのでは？）
- マスク（もういらんのと違う？）
- 冷却グッズ（首に巻くものとか。すでに冷たくない。冬場はホッカイロが多い）
- 保冷剤（保健室に返していない。これもすでに冷たくない）・・・などなど



教科書やタブレット、筆箱などにまじって、それだけでなく狭いスペースにもものがいっぱいあります。

おうちではどうでしょう。

夏休みはおうちの身の回りのいらぬものを総点検してみましょう。

いらぬものがなくなると、ほんとうに「いるもの」が見えてきますよ。

### ②情報をへらす

大人もそうですが、子どもたちも“情報の嵐”の中で生きています。

情報の優先順位がつけにくい子は、宿題があるのに目につく遊びをしてしまったり、「先生が持ってきなさいと言った！」と主張するものが実は必要なかったり、混沌としたなかで生活することになります。

ファイルに入れてもそのファイルになが入っているかわからなくなったりしています。情報の処理が苦手な子は何が必要な情報かわからなくなってしまう。

- 夏休み中の学校からの情報(=連絡)は、まず「いる・いない」に分けてみましょう。
- 色ペンでしるしをつけるだけでかなり見えてきます。
- スケジュール表はできるだけシンプルにするほうが大事なことがよく見えます。
- 少なくした情報は置き場所をひとつにしましょう。

SNS から魅力的な情報があふれていますが、少し距離をおいてみることも大切です。



### ③ 「ことば」をへらす

たとえば、子どもが宿題をするときに言わなくてもしてくれたら理想的なのですが、言わないと宿題をしない⇒このときに、どれだけ「言うこと」を減らせるかみましょう。

- ① ポジティブワードで 「いつまでゲームしてんの」→「そろそろ宿題したら」「何回言ったらわかるの!」⇒「3回言ったらできるよね」

- ② ちょっと動きはじめたとき「はよしなさい」と言わないこと  
ここで“待てる”かが今後に影響します。

- ③ 「一言多い」をがまんする  
「やったらできるねんから」「なんでさっさとやっとかへんの」  
⇒「いつのまにできたん」



学校でも、「わかったの?」「返事は?」などなど、心配のあまり言葉数が多くなっているなあと反省します。

そのほとんどが指示、命令で、子どものしたことや思ったことに「へ〜」と感動したり「なるほどねー」と共感したりする言葉が少なくなっているように感じます。

言わなくていい言葉をへらすと、子どもからの“いい言葉”も増えるかもしれませんね。



みなさん、いい夏休みにしてくださいね。  
2学期に元気な顔で会いましょう。

<この『おおきな木 (通級指導教室)』だよりは大池小学校 HP にも掲載しています>

学習・生活のことの相談、通級指導教室『おおきな木』へのご質問、見学希望などがあるときは、まず担任の先生にお話をしてください。

(豊中市立大池小学校 通級指導教室担当)